

鎌倉サーキュラーアワード事業部門「第 2 回鎌倉サーキュラーアワード認定事業者・タイプ II: 世界に誇れる共生循環事業者」

【取り組みリスト】

事業者名・店舗・支店名:

現在(過去2年以内)取り組んでいることを「配達回書」に記入してください。

アワードの要件: 環境分野は該当する全項目で取り組みがあり、協働分野・社会分野はそれぞれの分野においてどれか1つの項目について取り組みがあること。

(応募締切までに新しく取り組んでも良い。今後取り組み予定のものは対象外。)

※「環境にやさしい素材を使っている」「人によさしいサービスである」といった抽象的な表現では「取り組みがない」と判断しますので

取り組みの過程や詳細を示すウェブサイトや記事などがあればリンクを記載してください

応募締め切り  
2025年9月24日(水)

分野	No.	カテゴリー	項目	配達回書	配達例	実践のヒント
環境	1	温暖化を1.5度以下に抑えるためのアクション実施 ※この1-2年で新しく実施したこと、いずれかの項目でOK。	エネルギー消費量の削減		・事務所と製造施設を再エネに切り替えた ・社員のエコアクションを進めて、電気使用量が去年と比べて3%削減できた	温室効果ガス(GHG)排出量の多い原材料を少ないものに置き換え、GHG排出量の少ない燃料/エネルギー源への切り替え、再エネの自家/自社発電、廃棄物の最小化/削減 <small>参考)企業のバリューチェーン(スコープ3)算定と報告の標準p90~91、ISOネットゼロガイドライン</small>
			サプライヤーの選定		・これまで中国製のものを使っていたが、国内工場のものに切り替えた ・O社はISO14001を取得しているのでここを主要取引先に選んだ	近距離の地元で材料調達、GHG排出量についてレポーティング/削減戦略を持つサプライヤーを選択 もしくは環境マネジメントを実施/認証取得している会社や環境負荷の低い素材を積極的に採用している会社を選択
			輸送/営業活動		・出荷配送日を平日毎日から月水金に限定した ・営業資料と名刺は全て電子化した	輸送/配達効率の最適化、モーダルシフト、廃棄物削減/リサイクル率向上
	2	自社施設における廃棄物管理	働き方ビジネスモデル		・リモートワークを中心にして ・自社のモデル自体が競合他社と比べて廃棄物の発生が低いことを数値的に証明した	通勤距離の短縮、自転車通勤奨励、リモートワーク導入、出張削減/排出量の少ない移動手段推奨、週の日数削減、排出量の少ないゼロの新製品開発、商品使用時のGHG排出削減をデザイン、排出量の少ない技術/プロジェクトに投資
			製品/サービス		・弊社の製品は100%リサイクル素材からできている	代替素材市場の活性化(品質向上やコスト削減の実現)に貢献する製品/サービスの開発、ライフサイクルでのGHG排出削減のためのリデザイン、循環型経済の促進(再利用、修理、アップサイクル、リサイクルのしやすいデザイン)
	3	動物福祉管理 ※動物の飼育/輸送/屠畜に関連する場合のみ	自社が所有する施設でのリサイクルされない廃棄物の量の計測		36kg リユースされるので基本的にはオフィスごみのみ。1ヶ月計測し12倍(今年から毎日計測する)	廃棄量の絶対値に関係なく、計測している・するにはどうしたのか方法を把握していることが第一。廃棄物回収後どうなっているか確認していない場合は「リサイクルされない廃棄物」とみなす。サマールリサイクルや畑での自然分解は「リサイクルされない廃棄物」に含まない。
			動物福祉の5つの自由をモニタリングし、状況改善に向けたアクションの実践		弊社の鶏は平飼いで、5つの自由を徹底して飼育している。	動物福祉の5つの自由: 飢え・渇きからの自由(新鮮な水/食事)、不快からの自由(快適な休憩場所)、苦痛・傷害及び疾病からの自由(迅速な治療/予防)、通常の行動様式を表現する自由(十分なスペース/仲間との生活)、恐怖及び苦痛からの自由(精神的苦痛の回避)
	4	商品/サービス開発における循環原則の実践 ※物理的な製品を扱う場合のみ。 この5つのうちいずれかの項目でOK 内容はNo.1と重複してOK	製品/サービスの循環設計を廃棄物ヒエラルキーや食品廃棄ヒエラルキーに沿って説明できる		我々の事業は食品廃棄ヒエラルキーの「寄付」の手前位置する。廃棄になりそうな食品を価値高く販売できるプラットフォームを開発。またファンが増えることでお商売も数量把握しやすいため定期購入への誘導や、お店側にもどの時期にどれくらい廃棄になりそうな過剰が発生しているかをレポートし、作りすぎを減らしニーズにミートした売上高達成をできるようなToniconサルティンギをしている。	O2ヒエラルキーの原則とは、例えば最終的に焼却処分する前にそもそも廃棄しないといけない仕組みや素材を回避する。など段階的に考えることにより本質的な環境負荷低減を目指す概念。 廃棄物ヒエラルキー: 発生抑制→リユース→リサイクル→エネルギー回収→適正処分 食品廃棄ヒエラルキー: 発生抑制→寄付→飼料化→エネルギー回収→コンポスト→埋立/焼却 FMCG(食品、飲料、洗面用品、清掃用品、医薬品)の場合、また法律上使用できるものが限定されている場合、包装資材/商品に触れない二次包装(外箱)もしくは三次包装(パレット、シュリンクラップなど)輸送時に使用するものなどで考える。
			使い捨てを無くしたり減らしている		我々の事業は使い捨てのコップや食器をなくすためにリユースできるサービスを提供している。	製品/包装の構成要素の削減、サステナブル素材への切り替、包装の廃止、PaaS
			長く使えるようにデザインしている		耐久性に耐え、市販のプラスチックコップより1.8倍の強度を持っている。	・耐久性に関しては社内外問わず他社一般商品と比較することが好ましい。 ・修理可能な仕組みの例=モジュラー設計、内蔵の予知保全センサー、標準化された部品使用、修理マニュアル
使用後に循環できるようになっている				我々の商品は、部分的に購入することができる仕組みにしている。例えばキャップが破損したらキャップのみ、ボトル本体を落とすと破損したり、保温機能が弱まった際にもボトルのみ購入して、使える部分は引き続き使ってもらえるようにしている。	循環ができるような仕組みの例: ・分解: ある部分を取り出すために別の部品を壊す必要がなく、マニュアルを参照しながら一般的な工具を使ってできる(例: 製品ハスポート・DPP、接着剤ではなくネジなど)を使用する可逆的組み立て方法、モジュラー設計) ・再製造: 再利用可能な使用済み部品を取り外して新しい製品を組み合わせて再製造 ・改修: 製品を良好な状態に戻すための最小限の機能を持つ、例えば故障箇所の修理/交換、外観を洗浄/生地交換/塗装など表面的な変更可能、仕様更新可能	
5	クライアント/顧客の環境インパクト管理 ※No.4が該当しない場合のみ	商品のライフサイクル終了時に再循環できるようになっている		壊れてしまったコップなどは弊社でしばらく保管し、一定数量になったら業者に引き取りを依頼して、マテリアルリサイクルに回している。	同業他社比較、リサイクル施設/研究機関/学術機関などの第三者からのデータ、LCAの結果などで証明されている場合に該当。リサイクルインフラが少ない場合には上記取り組み実践を推奨。	
		潜在的な環境/顧客の環境インパクト管理		我々デザイン会社として、クライアントの1社は使い捨て商品を買っている。弊社が広告のデザインをすることで環境負荷を促進してしまうことになり、4月より包括的な商品企画/販売戦略コンサルティング業務を行うことになり、リサイクル素材を活用した商品提案も併せて行っている。	潜在的な環境への悪影響の例: ・気候変動 ・水質、土壌、大気、騒音の汚染 ・生物多様性の喪失またはその他の環境悪化 ・天然資源の採取 ・廃棄物	
6	調達における環境影響の考慮	調達に関する意思決定における顕在的・潜在的環境影響の考慮		・海外輸送は環境負荷が高いので、製品の製造委託は国内調達、しかもなるべく関東圏内を基本としている ・オフィス家具は撤退する会社から譲り受けた ・お客様に出すコーヒーはフェアトレードマークのものを選定している	緩和への取り組み例: ・クライアントプロジェクトを審査する場の設置、関係者からのフィードバック収集 ・除外基準の設定(例: 特定の高リスク産業、国・企業と取引しない規定)、それに応じた契約の終了 ・クライアントと協議し、環境への悪影響を防止・緩和するために調整	

協働	7	環境や社会へのプラスのインパクトを生み出す事業であることがわかるバーパスを公開している	環境や社会へのプラスのインパクトを生み出す事業であることがわかるバーパスを公開している www.xyz.com/about	弊社のバーパスは「2030年までに食品容器包装の10%をリユース」環境問題や社会課題の認識についてはウェブサイトで明文化している。	該当しない例:「お客様に優れたエクスペリエンスを」もし優れたエクスペリエンスをできない状態が社会課題となっていて、これを達成することで人々のウェルビーイングなど課題を解決するものである、という説明が社内外でできていれば該当。
	8	ステークホルダーガバナンス	意思決定の際にステークホルダーへの影響を考慮している事例がある	先日、利用料金の1%をNPO団体への寄付に充てるという決定をしたが、利用者に対して寄付するとしららという団体がいかにアンケートを行ったり、寄付先のNPOを知っている専門家や他のNPOの団体にごにお金を投じることが本当にインパクトあることに驚かせるなどのヒアリングを実施した。	ステークホルダー:従業員、サプライヤー、お客様、投資家、地域のコミュニティ、地球環境
	9	苦情対応	安全に苦情を提起でき、解決を求められるような、公にアクセス可能な苦情処理の手順がある	問い合わせフォームに「苦情・ご意見」というカテゴリがあり、氏名の入力は任意になっている。このフォームは社長・総務・カスタマーサービス担当者が見られるメールアドレスに自動送信される。顧客以外の苦情は社長が対応する。 www.xyz.com/contact	・苦情受付窓口:すべての問い合わせに対する一般的なメールアドレス、内部苦情:倫理ホットライン、紛争解決事項を含む企業間契約条項、従業員向けの「オープンドア」や「Speak up」、提案・改善ボックス、その他の従業員向け音声投稿ツール、カスタマーサービス部門、労働組合。 ・苦情処理の手順書:もし何か受けた場合に誰(責任者を任命)が、どういプロセスで、いつまでに、対応するかを決めておく ・通報社の保護:報復からの保護のための機密保持など
	10	責任あるマーケティング&PRの実践	責任あるマーケティングポリシーを設定している	グリーンウォッシュと人権侵害を防止するために、コミュニケーションの5か条を作り、社員に共有している。 https://docs.google.com/document/d/xxxxxxxxxxxx	・信頼できるデータ(証拠に基づいており再現可能なデータ)もしくは科学的なデータ(信頼できる査読誌に掲載された科学者による研究に基づくデータ)に基づいて、正確で検証可能で裏付けされた主張を行う ・プラスとマイナス双方のインパクトについて、誠実であり、透明性があり、説明責任がある ・倫理ガイドラインに従う ・オンボーディング、研修、社内向けガイドブック、コンプライアンスチェックなどで周知する
	11	環境・社会へのインパクトモニタリング	環境や社会へのインパクトKPIを設定し、レビューミーティングの議事録がある	リユース食器利用者の延べ人数(前年比増10%) 2024年の結果=13万8000人(未達) 2025年5月8日の経営者会議でレビューした	少なくとも年に1度、取締役会か経営陣が、自社のバーパスの推進に関する進捗状況、社会的・環境的業績、ステークホルダーガバナンスの実践状況をレビューする
	12	コレクティブ(協働的)な社会的・環境的インパクト推進 ※いずれかの項目でOK	メンタリング	メンタリングの分野での知見を活かしてアドバイザーすべく、xx市のサーキュラー事業育成プログラムのメンターに就任した。	メンタリングの例: 研修、知識の共有、フィードバックの提供、専門知識の共有 メンター(メンタリングを受ける側)の社会的・環境的インパクトの向上と整合した明確な目標があり、既に成果があるもの。金銭的報酬は受け取らないもの。
			研究への貢献	xx大学の循環研究のために弊社の1ヶ月間の〇〇データを提供した。	例: 金銭的貢献、現物貢献、データ共有
			マルチステークホルダー・コラボレーション	〇〇の概念を広げるために弊社とA社、NPOの〇〇、専門家の〇〇氏と共に〇〇地域で〇〇月間を行った。	例: ・セクター別・専門的ガイドの作成 ・持続可能なイノベーションの促進、ソリューションの開発(例:リサイクルインフラ) ・地産プロジェクトへの共同投資 ・材料や技術の標準化、共有インフラの構築 ・社会・環境へのインパクト推進に関連する業界のワーキンググループ・プロジェクトへの参加
			政策提言、または法改正などにに向けた調整	弊社の回収方法を〇〇にするためには〇〇法の〇〇に抵触する可能性があり、〇〇区の議員と勉強会を行うなどして、まずは改定の必要性と、国家戦略特区として〇〇を実施できないか検討している。	例:議員や役所・省庁との協議、提言、ワーキンググループへの参加
	13	従業員フィードバックの考慮	ソートリーダーシップ	循環型社会を推進していくために、一般消費者が特に〇〇について深く知り、協力してもらいたいと考えるので、〇〇のイベントに登場し〇〇についてセミナーを行った。	例:講演、ブログ投稿や記事執筆、研究論文発表、技術知識へのオープンソース作成
			従業員に影響を与える決定について、従業員フィードバックを求め、検討し、対処した事例がある	従業員にストックオプション制度(将来決まった価格で株式を購入、それより株価が上がっていれば利益を得られる)を設けたいと考えていたが、メンバーの中にはそうでない報酬の形が良いという声もあり、任意での加入とした。	必ずしも従業員全員でなくとも、代表者との協議もよい
14	職場文化の計測と向上	定期的に職場文化を測定している	年に1度、弊社に関わるメンバーに向けて無記名の満足度調査を実施している。	調査項目:満足度、幸福度、所属意識、エンゲージメント、心理的安全性 調査方法:アンケート、ワークショップ、ディスカッション	
15	サプライチェーンの人権考慮	調達決定で人権への影響を考慮している	イベントなどで軽食を出す際には、フェアトレード認証を取得している食材から優先することをルールにしている。	商品を販売する会社:原材料、資材など商品を構成するあらゆる資材 サービス会社:コーヒー/紅茶などの飲料やケータリングサービス、紙やその他の文房具、電子機器、オフィス家具、ギフト、清掃/管理サービス 認証取得商品を選択したり、サプライヤーに直接ヒアリングや調査を行い、人権が考慮されているかを確認する 研修やワークショップを実施し、社内の意思決定や制度設計が多様性を尊重する形になるようにする。	
社会	16	JEDIアクションの実践 JEDI=正義、公平性、多様性、包括性 ※いずれかの項目でOK	1年に1回、経営陣や管理職・人事担当がJEDIに関する知識と能力を向上させている	年度初めの全員会議でダイバーシティに詳しい専門家を招き社内でもどのように進められるかを議論した。	コミュニティの多様性は会社が属する地域社会において、性別・年齢・人種・学歴・障害など属性の多様性を反映できているかを意味する。例えば鎌倉市では男女比率は77%:23%、障害者比率は4.3%、外国人比率は1%、などといった人口統計に応じて、意思決定層や社員が構成されているか。
			経営陣が社員のメンバー構成にコミュニティの多様性を反映している	弊社の取締役役員は、男性1名、女性1名、学習障害のある男性1名、地元地域の主婦1名である。	実践例= ・すべての求人情報にダイバーシティの取り組みに会社としてコミットしているという宣言文を含める ・法律・業界団体・規制当局で義務付けられている場合を除き、採用プロセス中に信用調査や犯罪履歴を要求しない ・採用プロセスにおけるバイアスやその影響を軽減するための措置を講じる(面接前に意思決定する人の手元資料には写真を掲載しない、氏名をイニシャルにする等) ・職務説明の文言と要件を分析して、それがインクルーシブかつ公平であることを確認する(年齢や性別役割を既定してしまうような表現がないか、学歴や障がいがあることで応募を諦めざるを得ない文言になっていないか等)
			インクルーシブな採用を実施している	空きポジションの募集では、弊社独自フォームへの入力のみとし、先行する側のバイアスが働かないように、氏名はイニシャル、写真や性別などの情報は入力しないようにしている。	階層別の組織でリーダーシップのレベルが上位のポジションに就けるようにすることが前提。 ・スポンサーシップ=周りの人が対象者であることを信頼しバイアスを無くして成果を認めやすくするよう、既に地位を築いている人が対象者を推薦していると公言すると ・メンターシップ=その人が歩みたいキャリアに進めるようにアドバイスを行うこと 独自のガイドを開発する代わりに、他の組織・会社が作成したガイドを採用することもできる
			従業員にスポンサーシップとメンターシップの機会を提供している	取締役が全員男性なので、現在マーケティングを担当している女性に対し、近い将来役員になれるように代表がメンタリングをしている。	例:無制限の短期病休制度、性別特定休暇、個人的な休暇、従業員個人が選択する宗教的または文化的な休暇(会社が指定する、例えば近隣の神社に参画するための休日や運動会などは対象外)、育児休暇(法定以上、例えば小学生の子供を持つ親が使える数日の休暇など)、養子縁組のための休暇
			インクルーシブな社内/社外コミュニケーションのためのガイドブックを開発し、実践している	SNSなどに投稿する前に確認するチェックリストを作成しており、「お母さんの仕事」や「女の子の被氏」など固定的な価値観に基づく表現がないかどうか、中傷的な表現がないかを発上で投稿するルールになっている。	Web Content Accessibility Guidelines (WCAG) 2.1を参照する。 ウェブサイトのアクセシビリティを向上させるためのツールを提供している会社(例えば「アクセシビリティ」のサービスを活用することもできる)
			合法的な最小量を超えて追加の種類の有給休暇を提供している	通勤「スリ休み」という、生理中・不妊治療・性転換治療・精神療など、本人がウェルビーイングのために必要な休暇を、通常の有給に加えて年間5日間取得できる制度がある。	地元=鎌倉もしくは関東圏内を想定、大企業の支店はこれに該当しない。 多様性=定義は会社それぞれだが、一般的に日本においては「健康な日本人男性」が会社を代表することが多いため、それ以外の属性の人が代表の会社とあえて取りを推進する。
社内外のコミュニケーションツールはアクセシビリティ基準に準拠している	弊社のウェブサイトにアクセシビリティツールを導入し、様々な視覚や学習/知的な障壁を持つ人に合わせて表示できるようにしている。	商品の説き書みに簡単な点字と、読み上げ機能で読みとったり文字を拡大することができるWebサイトへのQRコードをつけた。	リデザインする際には、何かの特性を持った人用に個別に開発するのではなく、誰もが同じものを使えるユニバーサルデザインとする。		
地元のサプライヤーの多様性を促進している	弊社の食料の調達先は地元且つ女性や外国籍など、これまでビジネスチャンスがなかなか得られにくかった人々を応援するためにそういった人々が経営者の会社をあえて選んでいる。				
製品やサービスがどのくらいインクルーシブか評価したり、リデザインしている					